

# なぜ医療費、介護費は増えるのか？

## 知られざる保険行政の構造！

(H22年12月厚生常任委員会にて)

### 井手たくの問い

「後期高齢者医療制度で疾病別の分類はされているのか？」

### 医療保険課長答弁

「医療費の内訳となる疾病分類別統計が作成されていない。」

### 井手たくの問い

「介護の必要な方になる可能性の高い特定高齢者把握数が平成18年の89000人から平成21年24000人に減少したわけは？」

### 高齢福祉課長答弁

「捕捉（把握）が十分にできず数が下がった。」

以上、やる気はあるのか！という状況である。

ちなみに、県は市町村の保険者を管理指導する立場だ。この新聞のp1の下段に掲載したように、医療費、介護費、保険料が軒並みに上がるのは、高齢化だけが理由ではない！県、市町村の予防事業に対する無気力と合わせ、次のような構図がある。

医療・介護の保険者は市町村。その運営事務を受託するのは県内市町村が集まり構成された「神奈川県国民健康保険連合会」という公法人。

つまり「市町村」が「市町村」へ保険事務を委託しているのだ。

そしてH23.3厚生常任委員会で井手たくの問いに県は、「保険者（後期高齢者医療制度広域連合）が国に提出した保険料試算結果を県は持っていない」と答弁。

医療費、介護費に対する県としてのチェックがなされていないことが判明。今後、県議会を通じて先ずは私がチェックするしかない！

参考）平成21年度後期高齢者医療制度の一人当たり平均保険料は、全国都道府県で、神奈川県がもっとも高い85,890円だった。尚、同規模の都市・大阪府は76,833円。未だ保険運営に工夫の余地はある。県はしっかり指導すべき。



## SOS! ボランティア募集中! 是非、ご連絡下さい!!

連絡先《tel/fax》0466-81-9308、090-8440-0287 《E-mail》taku-ide@shonanfujisawa.com 井手拓也まで

キリトリ線

井手たくやに対するご意見をどしどしお寄せください！必ず返答します！

(フリガナ)

お名前 様

生年月日 性別： 男性 ・ 女性

ご住所

〒

電話番号 - - FAX - -

携帯電話 - - ご職業

Eメール

討議資料 発行  
民主党・かながわクラブ  
井手たくやと藤沢街おこし会

井手たくやへのメッセージ欄

